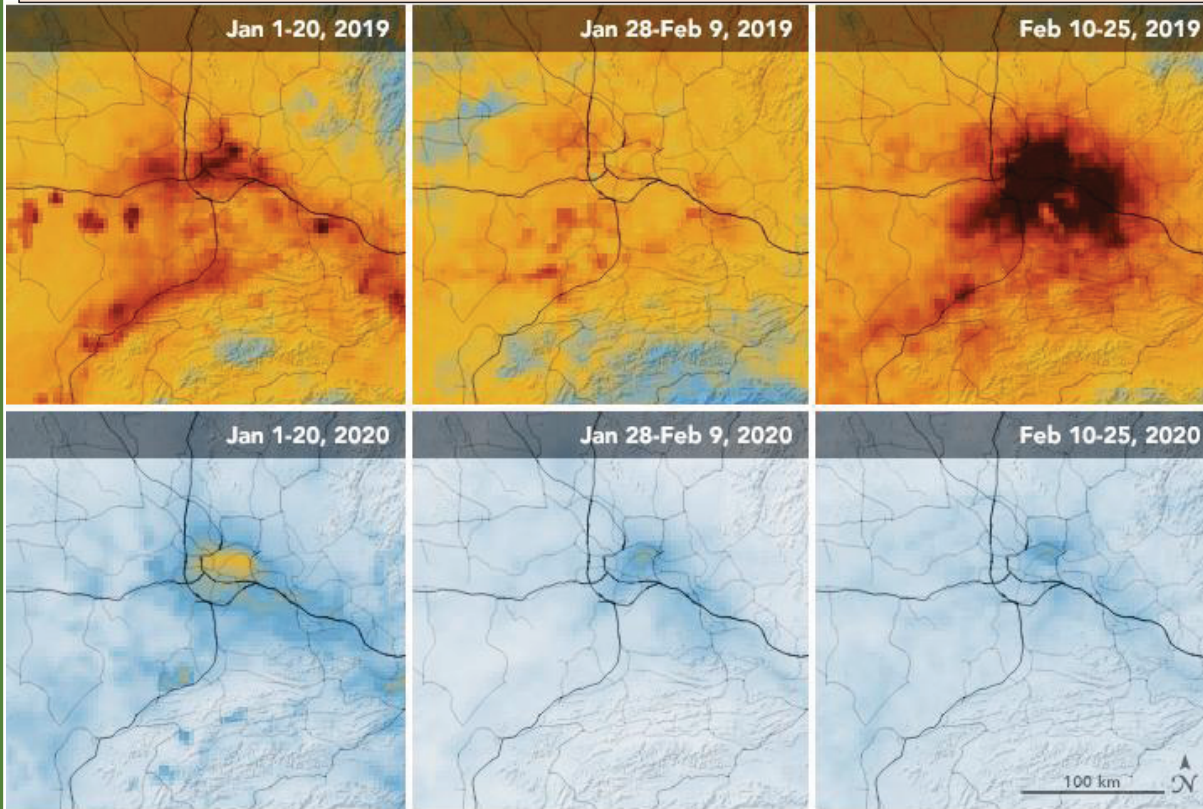


COVID-19 ウイルス発生源（中国武漢市）について

2019年・2020年の 中国春節前後NO2の濃度

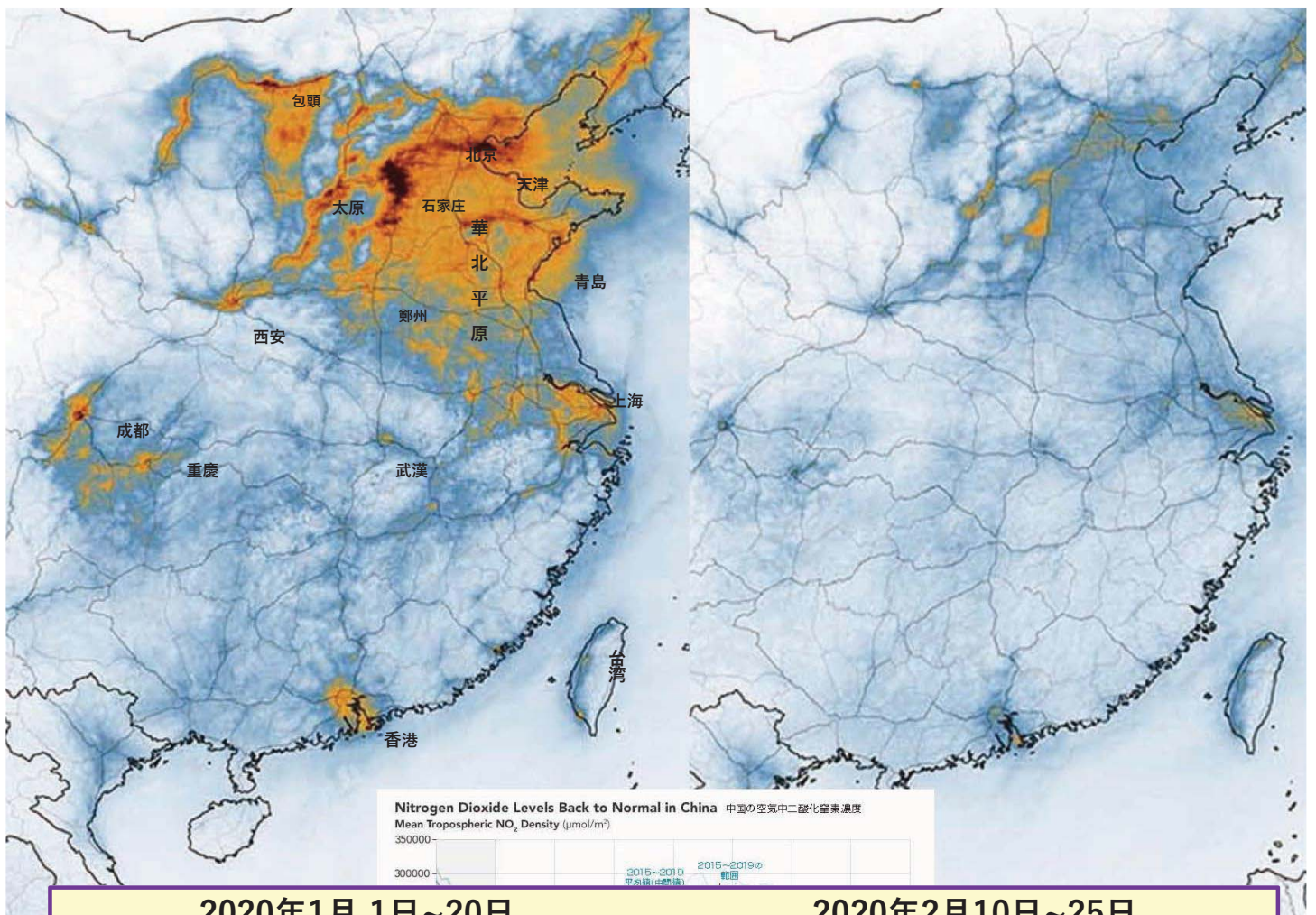


武漢市封鎖前後
 左：
 上/下2019/20
 0101-0120
 中：
 上/下2019/20
 0128-0209
 左：
 上/下2019/20
 0210-0225

1月23日武漢市封鎖

Mean Tropospheric NO₂ Density (µmol/m²)
 0 125 250 375 ≥500

Y.T 2020002



2020年1月1日~20日

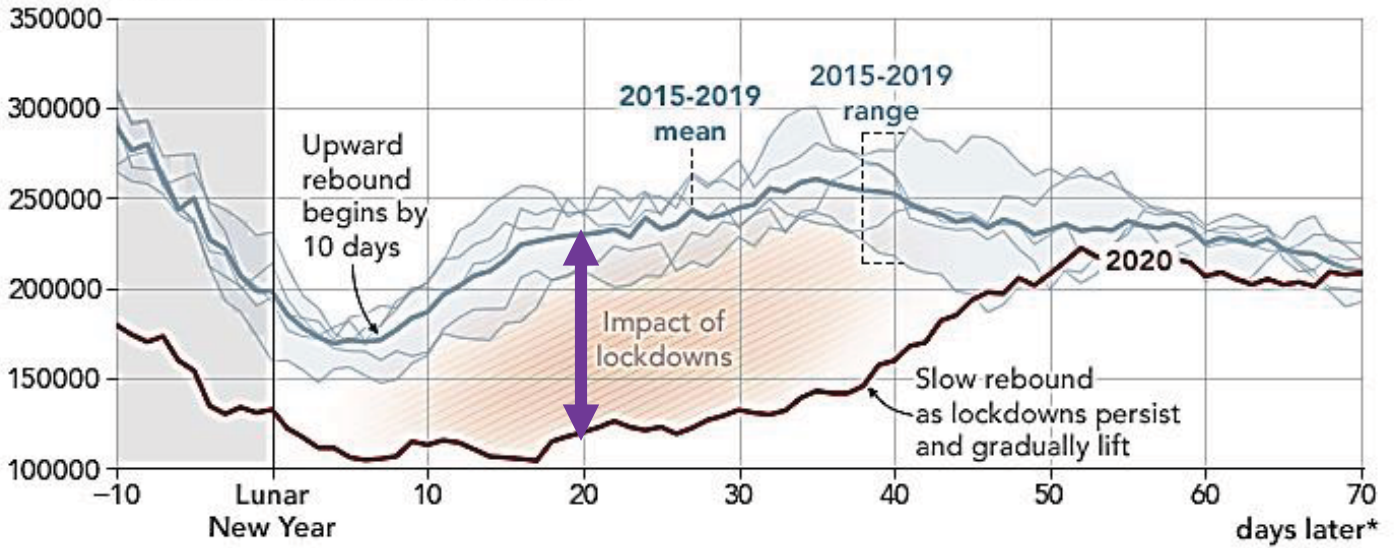
2020年2月10日~25日

中国の東部の対流圏二酸化窒素濃度分布

中国の東部の対流圏二酸化窒素濃度分布

Nitrogen Dioxide Levels Back to Normal in China

Mean Tropospheric NO₂ Density (μmol/m²)



2020年	春節1/25	2/4	2/14	2/24	3/5	3/15	3/25	4/4
-------	--------	-----	------	------	-----	------	------	-----

中国新型コロナウイルスの発生源は？ ①

◆中国・武漢コロナの発生源は？

- 場所：江夏区 武漢ウイルス研究所（米国など）
- ・ 18年に訪問した米外交官が、施設の安全面の脆弱性を公電で指摘。
 - ・ 4月25日の仏紙ル・モンドも、コロナウイルスの宿主となることが多いコウモリの研究で知られる女性研究員が、新型コロナウイルスが流出した可能性を危惧していた。

◆原因：

- ・ ウイルスは人工的なものでも、遺伝子改変されたものでもない
- ① (感染が) 動物に噛まれたり、接触したり等 【事故】
- ② ウイルス等の取扱・管理不備等 【事故】
- ③ 生物兵器開発中の事故 【兵器開発中】
- ④ 生物兵器(完成) の取扱い・管理不備による感染 【兵器】

場所：

- ① 海鮮市場
- ② 武漢疾病予防管理センター
- ③ 武昌区 武漢ウイルス研究所
- ④ 江夏区 武漢ウイルス研究所（P4実験室、ウイルス保蔵室ほか）
- ⑤ その他

中国新型コロナウイルスの発生源は？ ①

COVID-19の感染状況・発生源に関する情報 (2019年12月～2020年12月)

20200512_rev0808_1214 現在

YTanaka

年月日	記事概要	出典	備考	証拠 見解の一致度	確信度/ 可能性
20190918	武漢の天河国際空港にて、ウイルス感染者に対する防疫訓練を実施。(軍協力)	中国の新聞記事	中国の新聞、Biz掲載	0328アサ芸	
20191018	武漢にて世界軍人オリンピック開催				
20191202	武漢市で2名の発症者	WHO中国報告書			
20191208	武漢市で最初の感染者が発症(後に中国政府が認定)	読売新聞	コロナ 初患者確認1年		
20191212-29	武漢市で12月12～29日に原因不明の肺炎患者が相次いで発生。1月5日までに59人(うち29人が重症)の患者が確認	1月09日 jiji.com	https://www.jiji.com/jc/article?k=2020010900417&g=int		
20191216	1人の患者が、私たち武漢市中心病院南京路分院の救急科に運び込まれた。原因不明の高熱が続き、各種の治療薬を投与しても効果が現れず、体温も全く下がらなかった。	「文藝春秋」編集部/文藝春秋 2020年5月号4/13			
20191222	患者を呼吸器内科に移し検査、検体サンプルを外部の検査機関に送ったところ「 コロナウイルス 」との検査結果が口頭で報告された。	文藝春秋 2020年5月号4/13(月)			
20191230	武漢市中心病院の救急科主任(李医師同僚) 艾芬(アイ・フェン)女医、感染症の発生に気づきチャットで同僚らに警告を発信。 ※華南海鮮市場でSARSの感染者7人が確認された	東洋経済オンライン 0401宮崎 紀委	※投稿(ポストセブン)		
20191230	武漢市中心病院の李文亮医師「市場で7人のSARS(重症急性呼吸器症候群)感染が確認された」などの情報をグループに発信。(同僚医師ともに防疫措置を探るよう注意喚起する目的の為)	東洋経済オンライン 0402宮崎 紀委			
20191231	WHO 武漢で未知の肺炎が流行しているとの情報を察知。中国・武漢の当局の発表や現地報道を把握。台湾、Emailで武漢の肺炎をWHOに通知。	読売新聞0416	テドロスEIOSネット利用に新システム活用		
20200101	WHO 事態管理チームを設置。 海鮮市場閉鎖。	読売新聞0416			
20200102					
20200103	李文亮医師地元警察からの呼び出し。「流したSARSの情報は正しくなかった。今後は注意します」 罰金処分 を受ける。				
20200104	馬主任 内部会議				
20200105	WHO 最初の感染流行情報を発信したが「人から人への感染は報告されていない」と記す。その後「緊急事態宣言」を判断する緊急委員会も「中国以外では人から人への感染が確認されていない」として一度は宣言を見送り「中国への配慮」と批判された。	読売新聞0416			
20200106	李医師 新型肺炎の患者を診る。				
20200108	中国、肺炎患者から新型コロナウイルスを分離、CDC,WHOの中に通知。				
20200109	中国政府、原因不明の肺炎患者から新型コロナウイルスが検出されたと発表(正式に認める)	東洋経済オンライン 0402宮崎 紀委			
20200112	頃、武漢の病院の呼吸器科病棟が許容量の限界に達し始め、一部の患者が受診や入院を断られる				
20200114	中国国家衛生健康委員会の馬曉偉主任、SARS流行以来「最も深刻な危機」で「衛生上の大問題となる恐れがある」との認識を示したことを記していた。ウイルスが人から人への感染の可能性があると確認。(石正麗、4月のオンライン講義で)	東京新聞 2020年4月16日【ニューヨーク共同】米A P通信 15日	https://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2020041601001129.html		

◆新型コロナウイルスを巡る習政権の主な動き

2019年12月31日 武漢市政府が原因不明の存在を公表

20年1月7日 習氏、政治局常務委員(後日、この場で「目撃していた」と主張)

9日 中国政府が新型ウイルスを公表

19日 習氏、雲南省訪問へ

20日 人から人への感染が明確習氏、新型コロナ対策

23日 武漢市の封鎖始まる

習氏、春節(旧正月)脱。新型コロナに接触

27日 李克強首相、武漢視察

30日 世界保健機関(WHO) 感宣言

2月7日 当局発表前に警鐘を鳴らす医師、李文亮氏が処刑

24日 全人代の延期決定

習氏、武漢を視察。勢いは基本的に抑え込め確認示す

3月10日 習氏、主要20か国・地域のテレビ会議で世界への援助意向を示す

26日 習氏、トランプ米大統領と、コロナ対応で連年1～3月期の国際(DP)のマイナス成長

4月17日 習氏、WHOの年次総会の提出を発表

5月18日 全人代閉幕。無症状感染者がゼロに

22日

積極姿勢に転換

Y.T 20201214

中国新型コロナウイルスの発生源は？ ②

20200118	潮目 第二幕				
119	北京中央政府から専門家チーム到着。疫学者鍾(重)南山(スインザン)2日間感染源と感染規模を調査、市場等の視察。北京に戻り 国家衛生保健委員会(NHC) に報告	[0603-都市封鎖の内幕0411ロイター]写真のみ?	https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2020/04/post-93105_nhn		
20200120	中国「人から人への感染」認める。 ※20 COVID-19クラスB感染症認定病院の呼吸器科病棟が許容量の限界に達し始め、一部の患者が受診や入院を断。	WHO中国報告書p14	※20 ウイルス解明!		
20200121	習主席テドロス事務局長にパンデミック警告の延期を要請				
20200123	武漢 閉鎖				
20200125	春節(旧正月休暇:24日(金)～30日(木))		春節、24日大晦日-27日(初三)		
20200128	テドロス氏訪中、習近平と対談。中国の対応をたたえる→香港のサウスチャイナモーニングポスト(SCMP) 注:中国 遺伝子地図を完全に解読したが、WHOに未公開!	読売新聞0416 Wiki Korea 6/3	仕事始め(法令)		
20200129	28日から30日までのWHOと中国のやり取りは?				
20200130	WHO国際的な公衆衛生上の緊急事態宣言(パンデミック宣言無し)		仕事始め(法令)		
20200131	人民解放軍陸軍の生物兵器専門家武漢に派遣	解放軍報	PLA 女性少将陳薇		
20200131	米保健福祉省が緊急事態宣言、米入国禁止措置への否定的見解				
	石研究員「研究所から流出疑惑全面否定。命ををかけても保障する」と。5/24まで不明				
20200207	李文亮医師逝去(享年34歳)。同医院で治療を続けたが、新型コロナウイルスに感染。				
20200208	国務院、経済生産活動再開通知。社会的・経済的活動が回復段階に入った	WHO中国報告書p14			
20200210	WHO 中国4万人の感染者				
20200218	感染数/日ピーク?				
202002下旬	国家衛生健康委員会ハイレベル専門家グループのグループ長鍾南山氏「感染はまず中国で発生したが、ウイルス発生源が中国だとはかぎらない」と語る。「人民日報」などの官製メディアで発信		習政権の“世論操作”にも物議 2020.3.11 産経デジタル		

12月31日8日～1月20日まで情報隠蔽 43日間
 習近平が『初動の遅れ、情報の隠蔽』の失策
 しかし、『発生源論争』に転換・目をそらされた!

◆新型コロナのステージ！

- 第1ステージ：2019年12月初旬～2020年1月末
 - 12月8日；武漢で最初の感染者発症。12月末SARSに似たウイルスを検出（中国医学科学院にデータを提供）他の複数民間・公的機関も1月2日までに解析を終了。
 - 1月3日；中国政府は調査機関に、検体をすぐに廃棄するか指定機関に送るよう通知した。検査結果は独自公表を禁止。
 - 1月9日；専門家チームが新型コロナウイルスを7日までに検出したと発表。一方、1月8日から専門家チームの一人が「当時、各病院は調査に対し医療従事者の感染者はいないと虚偽報告（と証言）」、「人から人」感染を警告できなかった。
 - 1月18日：
 - 1月20日；中国政府専門家Gトップが「人から人」感染を認めた！
 - 1月21日；習主席WHOテドロス局長に「パンデミック宣言の延長」を要請
 - 1月23日；武漢市封鎖
 - 1月30日；WHO国際的な緊急事態宣言（「パンデミック宣言」なし）
- 第2ステージ：2020年2月8日 社会的・経済的活動が回復段階に入る
 - 3月11日;WHO「パンデミック宣言」 → 1月21日から50日後！
- 第3ステージ：3月中旬(18日)以降～ イタリア、米国で感染拡大；中国 医療支援を開始、世界貢献をアピールを強いる
- 第4ステージ：4月末から 南シナ海領土覇権活動を強化
- 第Nステージ：11月から 発生源は中国でなく、インド??から

中国新型コロナウイルスの発生源は？

◆新型コロナの発生源 可能性・確信度！

原因：

- ① (感染が) 動物に噛まれたり、接触したり等 【事故】
- ② ウイルス等の取扱・管理不備等 【事故】
- ③ 生物兵器開発中の事故 【兵器開発中】
- ④ 生物兵器(完成) の取扱い・管理不備による感染 【兵器】

ワクチンの開発とセットでないとならない。しかし、武漢をテストサイトとして故意に、または不注意で感染。その後は、別な目的でWFO、世界各国へのコロナ・マスク外交を！

- ⑤ 米軍が持込む(ミリタリーワールドゲームズ『軍人五輪』(武漢10月18日開催))
 ⇐ 9月18日に防疫訓練実施

場所：

- ① 海鮮市場 【可能性：中】
- ② 武漢疾病予防管理センター 【可能性：中⇒高！】
 → ∴ 原因①か② 地図記載なし！場所が確認できない。 確認0528
- ③ 武昌区 ウイルス研究所 【可能性：低】
 → ∴ 活動拠点を江夏に移転！
- ④ 江夏区 武漢ウイルス研究所 (P4実験室) 【可能性：中】
 → ∴
- ⑤ その他

COVID-19 ウイルス発生源（中国武漢市）について



華南海鮮水産卸売市場

武漢市江漢区発展大通

2006年頃から西側地帯は大規模な造成工事が開始



N30° 37'00", E114° 15'49"

市場通りの屋根 約90×18m 右下：2020年4月8日AD

Y.T 2020002

華南海鮮水産卸売市場

武漢市江漢区發展大通



N30° 37'00", E114° 15'45" 2016年7月29日GE

Y.T 2020002

中国科学院 武昌区 武漢ウイルス研究所



N30° 32'21", E114° 21'04" 標高

2019年12月7日 GE

Y.T 2020002

中国科学院 江夏区 武漢ウイルス研究所 P4施設棟



2020年4月17日撮影_Hector RETAMAL_AFP

Y.T rev20200424

中国科学院 江夏区 武漢ウイルス研究所について①

◆**2012年にP3実験室稼働を開始。**所内に中国ウイルス培養物保存センター（CCVCC）があり、アジア最大のウイルス保管(保蔵)施設で、1500株以上を保管している。
2015年病原体レベル4（P4）実験室が完成、2018年に稼働を開始。

A F P = 時事2020年4月18日

◆**新型コロナ 武漢研究所から 報復関税も示唆 米、中国追及強める**
□米国などは「新型コロナウイルスの発生源の可能性はある」として、**フランスの全面的協力で完成した「P4実験室」が備わる研究所（通称『新しいラボ』＝江夏区）の査察を求めている。**（仏バイオ企業の創業者アラン・メリュー氏が顧問を務めた。）
米紙ワシントン・ポストによると、政権内では**経済制裁や訴訟による賠償請求も検討**されているという。

中国科学院武漢ウイルス研究所は、**2017年にはフランスのパスツール研究所などの支援を受け、安全性が最高レベルの環境下で研究を行うP4実験室を完成させた。**
しかし、ワシントン・ポストは4月、研究所を18年に訪問した米外交官が、施設の安全面の脆弱性を公電で指摘したと伝えた。

4月25日の仏紙ル・モンドも、コロナウイルスの宿主となることが多いコウモリの研究で知られる女性研究員が、新型コロナウイルスが流出した可能性を危惧していたと報じた。

米国の情報機関を統括する国家情報長官室は「ウイルスは人工的なものでも、遺伝子改変されたものでもない」とし、「（感染が）動物との接触で始まったのか、武漢の研究所における事故の結果なのかを判断するため、厳密な調査を続ける」との声明を出した。

読売新聞2020/05/02

□ 5月1日 WHOの中国発生源調査の参加を拒否（3回）

中国科学院 江夏区 武漢ウイルス研究所②

フランスとの協力協定・・・

夕刊フジ0428

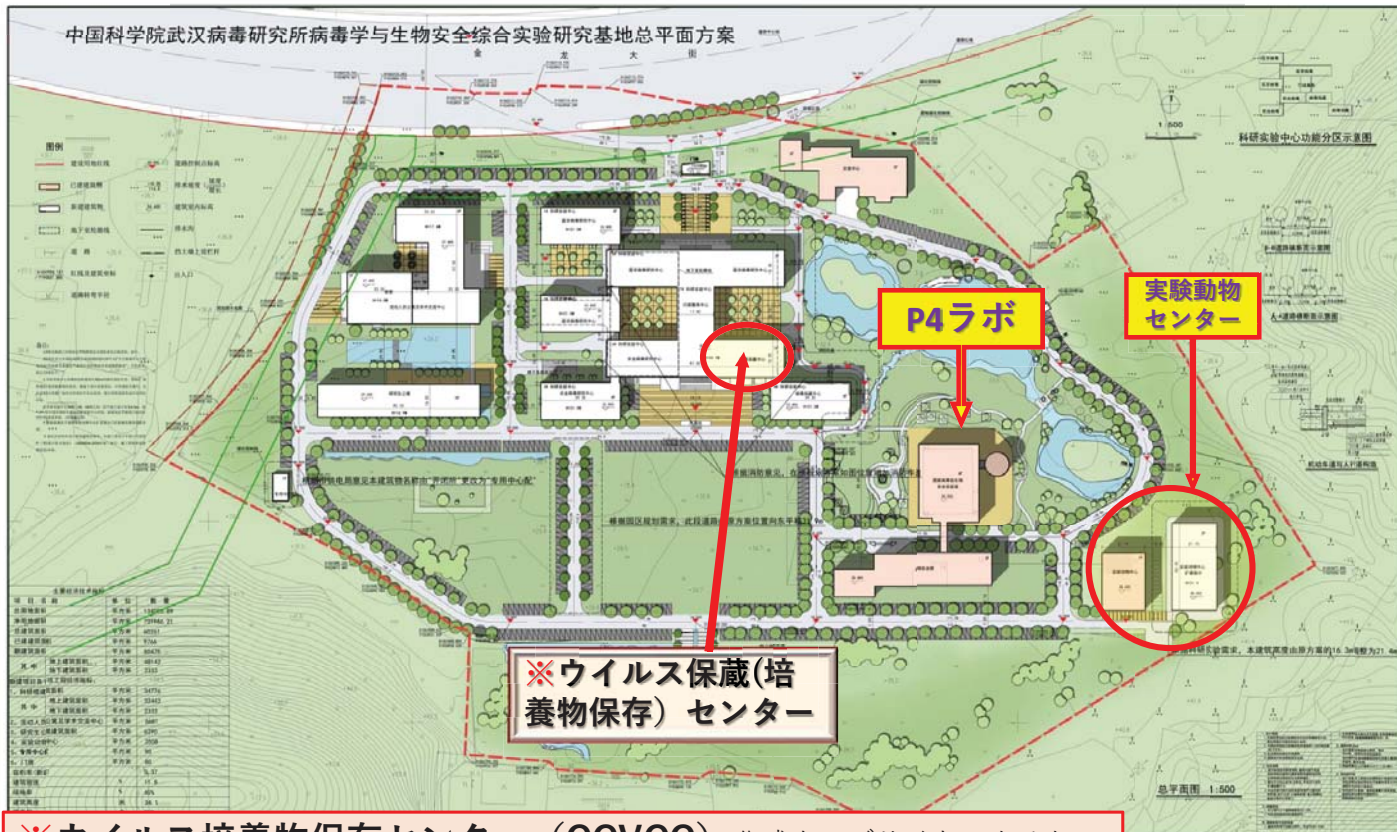
- 2004年「中仏予防・伝染病の制御に関する協力」を締結。SARS流行の翌年。
→ 当時から、フランスの細菌戦争の専門家らは反対を唱えていた。
なぜなら、01年9月の米中枢同時テロ後、米国で炭疽（たんそ）菌によるテロ事件が発生するなど、世界で生物兵器への警戒が強まっていた。フランスの国防国家安全保障事務局(SGDSN)は、「『**P4実験室**』は将来、**生物兵器庫に変容するのではないか**」と懸念を抱いていた。
- 「**P4実験室は、特定の部品のシーリングの点で、わが国の原子力潜水艦のそれに匹敵する**」と説明（雑誌記者アントワーン・イザンバール氏）。
- 「**新しいラボ**」は15年1月に完成、中仏共同プロジェクトの首席アラン・メリュー辞任。
- 17年2月(17日右下写真)フランスのベルナル・カズヌーヴ首相（当時）と保健大臣が「**武漢P4実験室に、フランス人研究者50人を5年間送り込む**」ことを発表した。
実験室のバイオセーフティーレベルを向上させる、中仏共同研究プログラムの作成と実行を目指し、技術的な専門知識の提供を中国側に約束したが、現在に至るまで、フランスは十分に関与できていないという。それどころか、
- 「**16年以降、両国の感染症委員会の会合すらない**」
「**フランスの研究者は武漢入りできない**」との話まである。
「両国で締結した内容、フランス側の意図に反して、
◆ **武漢の『新しいラボ』は中国人の研究者で占められ**
◆ **フランスの科学者による制御を逃れている**」というのだ。



中国科学院 江夏区 武漢ウイルス研究所 2020年5月

「ウイルス研究所P4施設が爆破された」という記事に対する確認のため、最新データを収集。結果、この画像情報からは、その情報は事実ではない。





※ウイルス培養物保存センター (CCVCC) 公式ウェブサイトによると、
アジア最大のウイルス保管施設で、1500株以上を保管している。
 発生源レポートp16,新型コロナの流出源? 武漢研究所を取り巻く<疑惑>【解説】 2020年4月18日
 【翻訳編集AFPBBNews】より

29
 Y.T rev20200507

新型コロナ危機と情報の正確さ

2020年4月14日 柯 隆 東京財団主席研究員 1963年中国南京市生
 JSTサイエンスポータル 柯隆が読み解く [柯隆が読み解く](#) > File No.20-02

新型コロナウイルスの感染が猛威を振るうなか、ウイルス感染拡大の実態について、
 いまだにわかっていない。

略

アメリカカリフォルニア大学リバーサイド校の中国問題の権威であるペリー・リンク教授は
「中国政府が発表する統計数字の正確さを問いたただすのはそもそも中国政府の文化を理解していない愚問である。」

中国政府は統計数字の正確さよりも、それを発表したときの社会的な反響と影響を優先的に考慮する。

したがって、中国の統計数字の正確さを追及するのではなく、
中国政府がその統計数字を通じてどのようなメッセージを発したいかを読むべきである」と。

中国政府にとって二つの心配があると思う。

◆政府の初動の遅れと混乱に人民の不満と怒りが溜まっているため、少しでも親民的な姿勢を示して、人民の不満と怒りを和らげたい。

◆新型コロナ危機が収束したあと、アメリカをはじめとする先進国で中国に対する責任追及である。